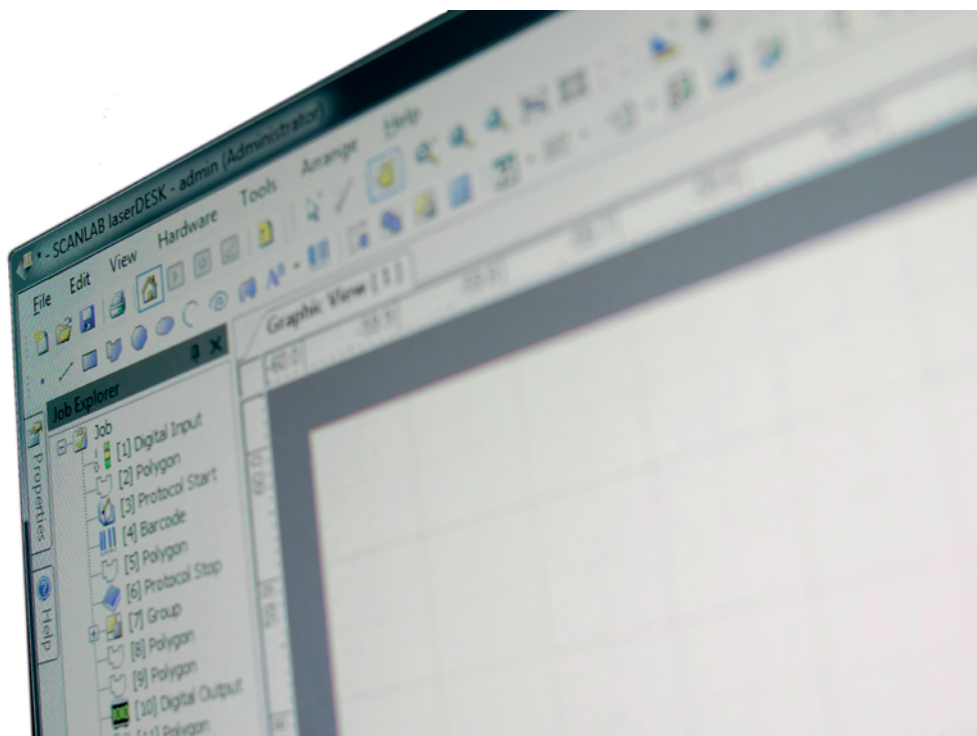


直感操作できる多機能な汎用マーキングソフトウェア

laserDESK

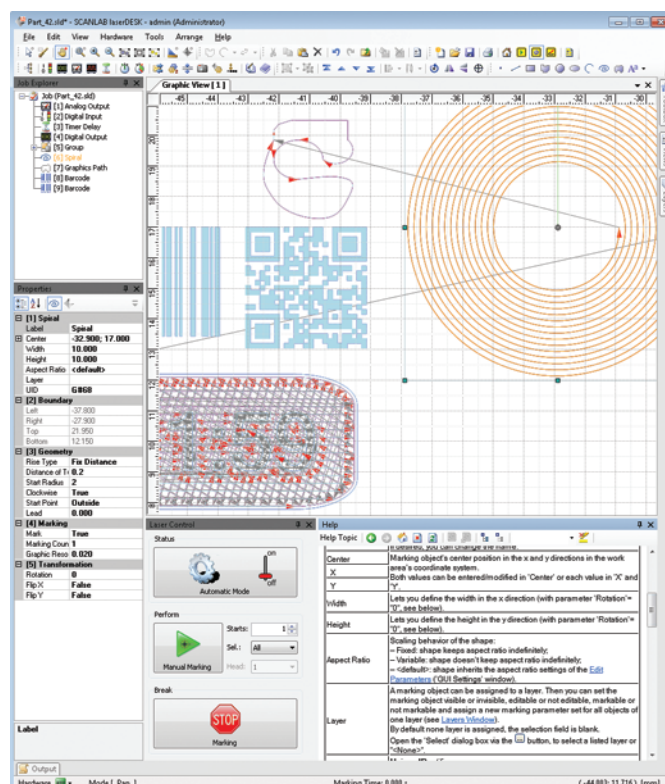


簡単ジョブ作成 & モニタリング

ユーザフレンドリーなインターフェースと SCANLAB ガルバノスキャニングシステムとの完全な統合により、レーザジョブ作成・実行および機器へのインテグレーション、メンテナンスをより容易かつ効率的に行えます。多彩なオブジェクト描画機能のほか、3D 加工、マーキングパラメータの設定やレーザコントロールがソフトウェア上で可能。機器へのインテグレーションをより容易にする各種モニタリング機能も搭載。様々な加工パターンを使用するレーザジョブから製造ラインまで使用できる多機能ソフトウェアです。

<システム要件>

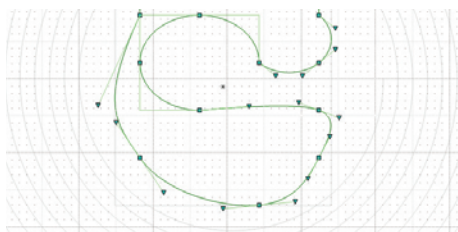
- 対応コントロールボード : RTC5, RTC6
- 対応 Windows 64 bit OS:
Windows10 以上 (.NET 4.5)
- USB ポート (dongle 挿入用)



外部プログラムや PLC で laserDESK をリモート制御可能 (オプション)

Ethernet 接続 (TCP/IP 通信)、もしくはシリアル通信で、laserDESK をリモート制御できます。ジョブの読み出しや実行だけでなく、ジョブ内のテキストやバーコード内容の変更も外部からのリモート制御が可能です。

laserDESK の主な機能



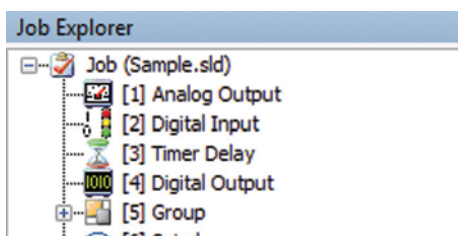
マーキングオブジェクト

点や線のオブジェクトに加えグラフィックパスや 3D スパイラルなどの複雑なマーキングオブジェクトを使用できます。全てのオブジェクトは、マウスや座標の直接入力で作成・変更・配置が可能です。



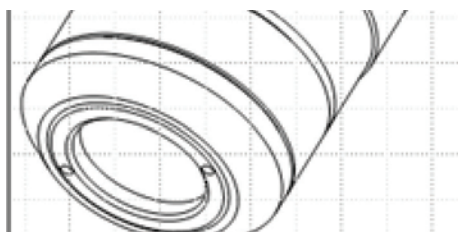
文字・日付・シリアル番号・バーコード・2次元コード

全ての TrueType フォントをテキストマーキングに使用可能。またバーコードや 2D コードも別途オブジェクトが用意されており簡単に生成可能です。日付やシリアル番号も同様で、設定も自由自在に行えます。



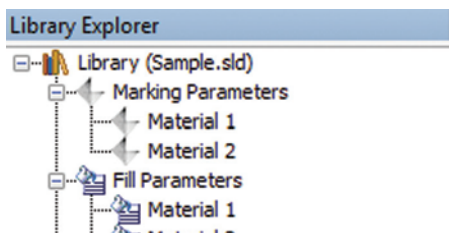
周辺機器との IO 制御

RTC ボードのアナログ・デジタル入出力をジョブに組み込み、制御することができます。それにより安全回路の実装やジョブ実行中のレーザータイプ設定、外部機器とのプロセス確認のやり取りなどが可能です。



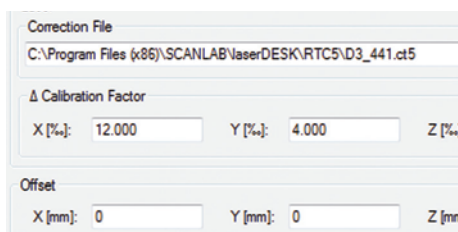
画像や 2D, 3D の図形ファイルのインポート

ビットマップ画像や 2D, 3D のベクタファイル (DXF) をインポートできます。それらオブジェクトは、配置後にスケール変更、回転が可能です。また、ベクタデータはポイントレベルでの後処理も可能です。



加工条件のパラメータセット

全てのオブジェクトパラメータは、プロパティで簡単に編集できます。また、それらパラメータは各オブジェクトに個別に割り当てられるだけでなく、ライブラリを介してまとめて管理することもできます。



位置補正の設定

SCANLAB の補正ファイルを適応させることで、スキャンシステムの加工の補正をすることができます。また、ソフト上でオフセット、スケール、回転の設定をすることが可能です。

お問い合わせはこちら



国内総代理店
株式会社スキャンソル

Tel: 042-320-5011
Fax: 042-320-5012

E-mail: info@scansol.co.jp
Website: <http://www.scansol.co.jp>